



発言通告書

令和 8年 2月 25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 浅尾洋平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月25日 午前/午後 9時40分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論		(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 令和8年度予算大綱説明について (総務経済分野)			
(1) 産業基盤について			
ア 新城インターチェンジ周辺企業団地第2期事業の現状と、新たな企業用地開発の期待効果を伺う。			
イ 豊橋新城スマートインターチェンジ (仮称) の進捗状況と期待される効果について伺う。			
ウ 市内中小事業者、商工会の要望内容を含めた現状と、地域経済活性化のための政策を伺う。			
(2) 農業振興について			
ア 担い手不足の現状と対策について伺う。			
イ 学校給食への地域有機食材の拡大について認識を伺う。			
(3) 林業振興について			
ア 担い手の現状と対策について伺う。			
イ 市として新たな間伐推進補助金の創設と、木質バイオマスへの活用検討を進めるとあるが詳細を伺う。			
(4) 観光について			
ア 現在策定中の湯谷温泉街活性化構想の概要、まちづくり組織の立ち上げにより、期待される効果を伺う。			
イ 湯谷温泉街活性化構想において鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな今後のあり方と、源泉貯湯槽からのレジオネラ属菌検出による利用者の健康被害の有無を伺う。			
(5) 公共施設マネジメントについて			
ア 有効活用による維持更新費用の縮減を図るとあるが、縮減方法の一つとして民間提案制度の利用について伺う。			
イ 民間提案制度で実施されている作手地域の旧巴小学校廃校利用の計画と進			

捗状況を伺う。

(6) 職員の改革について

ア 29歳以下の職員で組織する特命チーム「Z世代課」の成果内容について伺う。

イ 全職員のウェルビーイング向上とあるが、向上を図るためには、まず職員の長時間残業を早急に改善することが不可欠だと考える。市民からは「夜9時になっても庁舎内に明かりがついている」「職員の体調や家族・子どもとの時間が取れているのか」との心配の声が寄せられている。また、残業が多い原因として「なぜ長くなっているのか」「仕事が多すぎるのか」「どの部署で多いのか」「人手不足か、業務効率の悪さや能力の問題か」といった疑問の声もある。これらの現状把握と原因、対策について伺う。

代2(1/2)



発言通告書

令和 8年 2月 25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 今 泉 吉 孝

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	2月25日 午前/午後 9時10分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項(一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨(一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
1 令和8年度予算大綱説明について(総務経済分野)			
(1) 産業振興について			
ア 「新城市雇用創造協議会」と「地域の人事部」の果たす役割及び期待される効果について伺う。			
イ 住み続けられる持続可能なまちづくりを目指すため「新城市中心核のグランドデザイン2040」が策定されており、空き家対策の実施や新たな魅力づくりに取り組むとあるが、具体的な取組について伺う。			
(2) 自治体DXの推進について			
自治体DXの推進の進捗と期待される効果について伺う。			
(3) 農業振興について			
鳥獣被害により農業生産活動の継続が困難な状況が続いていることから、施設園芸に焦点を当てた新規就農支援や、緊急銃猟に対応する予算計上について理解をるところではあるが、近年、人の生活圏である市街地への獣の頻繁な出没による食害が数多く報告されており、収穫を楽しみにしている生産者の心情や損害は大きいと感じる。本市では市街地に獣が出没することによる人への危害は、現状のところまだ報告がされていないが、市民の生命と財産を守るという観点から、出没情報の多いシカ、イノシシ、サルの個体数調査や、人と獣の緩衝帯対策についての市の取組を伺う。			
(4) イベント・観光について			
ア 第20回アジア競技大会自転車ロードレースの開催準備について、9月19日から5日間の長期にわたり、タイムトライアルと自転車ロードレースの2種目が行われる予定とのことであるが、関係する地域住民への説明や、周辺道路や地域の安全対策の取組について伺う。			
イ 新城ロードレース2025の反省点に関する認識と、今大会に向けての改			

善計画について伺う。

ウ このアジア競技大会を契機に「じてんしゃのまち新城」をさらにPRしとのことであるが具体的な取組について伺う。

(5) 観光大使マヂカルラブリーの村上氏を新年度においても観光イベントに招聘とあるが詳細について伺う。

2 経済センサス活動調査について

経済センサス活動調査は、5年ごとに総務省、経済産業省、都道府県、市区町村などが行う「統計法」に基づく調査であるが、これは本市におけるすべての事業所・企業の実態を把握できる基礎資料となるものでもある。経済状況から政策、防災などにも活用できることから非常に大切なデータである。そこで以下伺う。

(1) 現在、過去の経済センサス活動調査のデータを本市としてどれくらい活用しているか。

(2) 今後の課題と対応は。



発言通告書

令和 8年 2月24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

小林 秀徳

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60 分	受付	2月24日	午前/午後 8時50分
発言の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 令和8年度予算大綱説明について (厚生文教分野)				
(1) 市民病院建設について				
ア 上半期を目途に建設用地について方針を明らかにするとあるが、現時点における用地の見通しは。				
イ 基本計画策定にあたり、新病院建設基本構想(案)に対する、パブリックコメント、市民ワークショップにおける特に重要な意見、病床機能等を含め、おおよその規模を踏まえた具体的な方針は。				
(2) 歴史や文化、自然の分野について				
本市における、歴史教育や文化の発信拠点ともいえる新城文化会館について、改修工事を実施する計画であるが、最近の利用状況と今後の運用計画を含め、どのような考えか。				
(3) 地域の維持や魅力づくりにおける、関係人口(つながりびと)によるまちの活性化について				
ア 地域が求める持続可能性を支えるサポートとは何かを考える上で、各地域自治区における地域協議会との連携を図り、関係人口(つながりびと)に対して、地域への共感をどのように生み出すか進めていくとあるが、本市には、多くの歴史的遺産、重要な文化も有り、他自治体に引けを取らないと思うが、そのような認識を踏まえ、関りを持っていただくための具体的な歴史教育を取り組む考えは。				
イ 関係人口(つながりびと)によるまちの活性化を進めるうえで、戦国の歴史資源である長篠城、設楽原の戦いなどの学びは、教育現場においても大切であり、その上で政策を提案し進めていく中では、分野をまたいだ政策を実施していくことが望ましいと想定されるが、次世代への歴史教育は関係する部署との連携も踏まえ、どのような考えか。				

(4) 教育効果が高まる望ましい教育環境の整備について

ア 教師が児童生徒と向き合う時間を十分に確保し、きめ細かな指導ができる期待感を込め、国に先駆け4年前に中学校の35人学級を取り入れたとあるが、現状の分析と成果、及び今後の取組方針は。

イ 新年度より義務教育初期の小学校1、2年生において30人学級の実現を図っているが、県内でも先進的な政策であることを鑑み、期待する効果は。

ウ 学校施設面における環境整備について、小中学校のエアコンの設置について段階的に進めていく方針であるが、避難所としての機能を併せ持っている体育館への設置については、近年の災害等の報道でも知ってのとおり、近々の課題であると認識するが、具体的な今後の方針は。

(5) 学校給食への地域有機食材の導入と地産地消率の向上について

国の方針である「みどりの食糧システム戦略」に基づく農業政策を踏まえた有機農法による、学校給食センターへの有機米の具体的な導入についての見通しは。

(6) 教育面における支援について

ア 臨時交付金を活用しての子育て支援に対する、具体的な内容と効果は。

イ 学校になじめない児童生徒や保護者からの相談が増加傾向であることから、スクールソーシャルワーカーを新たに導入するとあるが、その取組に対しての考え方、実施内容と期待する効果は。

(7) 多文化共生における政策について

国籍や民族、言語、習慣の異なる者同志が、互いの文化的背景や違いを認め合い、尊重し、交流することで、新たな価値観に触れることができる機会であると認識し、そのうえで以下伺う。

ア アジア・フレンドシップ推進事業費補助金の概要は。

イ 実施する政策とアライアンス会議で合意したRace for Peace「平和のためのレース」などにおけるプロジェクトの概要と期待される効果は。

(8) 公共交通網の整備について

ア 奥三河地域の基幹交通機能の強化、利便性の向上を目途に、利用者のためのバス待合所を整備するとあるが、設置に至った経緯と規模、期待される効果は。

イ 「新城市・北設楽郡地域公共交通利便増進実施計画」に基づき、バス時刻表のデジタルサイネージをもつくる新城、本長篠駅、本長篠バスターミナルに設置する計画であるが、設置に至った経緯と期待される効果は。



発言通告書

令和 8年 2月 24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 竹下修平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月24日	<input checked="" type="checkbox"/> 前 / 午後 9時04分
発言の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般質問 本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 令和8年度予算大綱説明について (厚生文教分野)				
(1) 子ども・子育て分野について				
ア 「こども園の3歳未満時の保育料の無償化を、第3子以降から第2子以降に拡充を図ります」とあるが詳細を伺う。				
イ 「すべてのこども園及び小学校においてフッ化物洗口事業をこども家庭センターが実施するとともに、5歳児健診を新たに始めます」とあるが詳細を伺う。				
ウ 「こども園再編・整備計画に則り、東郷東こども園の療育機能を新城こども園に移転するため、新城こども園の改修工事を実施します」とあるが詳細を伺う。				
エ 新城市こども園再編・整備計画に基づく、令和8年度における事業実施の具体的な内容を伺う。				
(2) ごみ処理施設の整備について				
ア 「本市と北設地区(設楽町・東栄町・豊根村・長野県根羽村)における可燃ごみ処理の広域化を推進するため、最適な整備方法を検討する業務を委託する」とあるが詳細と事業全体のスケジュールを伺う。				
イ 「広域化施設が整備されるまでごみ処理を安全かつ安定的に行うため、クリーンセンターの長寿命化計画に基づき、設備の更新を行います」とあるが詳細を伺う。				
(3) 水道関連事業について				
ア 企業会計105億4,264万7千円のうち、約半分程度の金額を占める水道事業・工業用水道事業・下水道事業について、今後の展望を伺う。				
イ 物価高騰対策として実施予定の水道料金減免について、詳細を伺う。				

(4) 市民自治の推進について

ア 市民まちづくり集会と若者議会の開催を継続していくとのことだが、詳細と今後の展望を伺う。

イ 「地域自治区予算と地域活動交付金の予算配分割合を地域の意向を反映し、地域活動交付金の増額ができるようにしました」とあるがその経緯と詳細を伺う。

(5) 「市役所業務のデジタル化も進め、行政運営の効率化にも取り組みます」とあるが、厚生文教分野における主な対象業務とその計画を伺う。



発言通告書

令和 8年 2月24日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 長 良

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月24日	午前/午後 2時44分
発言の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般質問 <input type="radio"/> 本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
<p>1 自転車運転の安全対策について</p> <p>近年、自転車は環境負荷の少ない手軽な移動手段として注目される一方で、扱い方によっては重大な事故につながる危険性も併せ持っている。本市は中山間地に位置し、都市部と比較すれば自転車の走行量も事故の件数も少ないものの、坂道や見通しの悪い道路も多く、日常生活の中で自転車の運転に「ヒヤッ」とさせられることは決して少なくない。事故が少ない今だからこそ、未然防止の観点で、子どもから高齢者に至る自転車の安全対策について改めて考えることの必要性から、以下伺う。</p> <p>(1) 本市の小中学生の自転車の安全運転について</p> <p>ア 直近5年間における交通事故件数の推移について</p> <p>イ その内、自転車関連の事故の割合について</p> <p>ウ 小中学生の自転車の安全教育の現状について</p> <p>エ 危険運転への対応について</p> <p>オ ヘルメットの着用状況について</p> <p>(2) 2026年4月施行予定の自転車交通反則通告制度への対応について</p> <p>ア 新制度に対する市の認識と対応について</p> <p>イ 新制度施行後の安全意識向上に向けた市の取組について</p> <p>(3) 自転車保険について</p> <p>ア 市内の自転車保険加入状況について</p> <p>イ 自転車保険加入に対する本市の考え方と取組について</p> <p>2 高齢社会に対応した本市の可燃ごみ収集について</p> <p>本市では、市指定のごみ袋により週二回のサイクルで可燃ごみ収集が行われてい</p>				

るが、高齢者の単独世帯や高齢者のみ世帯からは、一回あたりの排出量が少ないためMサイズでも余ってしまい不経済との声がある一方で、夏の暑い時期に一週間分をためると臭気や衛生面に不安があるなどの声も聞かれることから、本市の人口構造の変化等を踏まえ可燃ごみ袋の在り方について、以下伺う。

- (1) 本市の高齢化率の現状と今後の見通しについて
- (2) 世帯構成別の可燃ごみ排出量の把握と分析について
- (3) 市指定ごみ袋のサイズに関する市民からの意見・要望について

6(1/1)



発言通告書

令和 8年 2月25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 加藤 稜 唯

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	2月25日	<input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 9時47分
発言の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 新城市における防災対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新城市災害対策本部における活動班のマニュアルの策定状況について伺う。 (2) 新城市の避難所・避難場所の周知及び運営計画について伺う。 (3) 福祉避難所及びこども福祉避難所の開設について伺う。 (4) 個別避難計画の策定状況及び運用について伺う。 (5) 市災害ボランティアセンターの開設・運営について伺う。 				
2 不妊治療費助成について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新城市の不妊治療費助成の現状について伺う。 (2) 特定不妊治療費助成についての考えを伺う。 				
3 長篠橋周辺道路整備の計画について <ul style="list-style-type: none"> 計画の内容について伺う。 				

7(12)



発 言 通 告 書

令和 8年 2月 25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 古瀬 剛

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月25日 午前/午後 9時53分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
<p>1 市役所開庁時間について</p> <p>1 2月定例会の一般質問で検討中との回答をいただいた。そこで以下、伺う。</p> <p>(1) 市役所開庁時間を短縮する場合の、想定される市と市民のメリット、デメリットは。</p> <p>(2) デメリットが生ずる場合の対処方法は。</p> <p>2 市役所内、職員の労働状況、労働環境について</p> <p>以下、伺う。</p> <p>(1) 近年、働き方改革が叫ばれている。例えば残業時間が80時間を超えると心身に影響ありとされている。残業時間の統計などは。また心身の不調を訴える職員の実態など、市の労働状況について。</p> <p>(2) 市役所のメンタルヘルスへの取組状況について。</p> <p>(3) 職場環境について。市役所では17時を超えると冷暖房を切ると聞く。得られる効果についての考えは。</p> <p>3 行政区、組など地域組織について市の捉え方とこれからの対応について</p> <p>予算大綱説明に、はつらつ世代の社会参加率アップ、社会参加寿命の延伸を図り、まちの活性化の原動力になっていただくこと、とある。しかし、はつらつ世代の人たちは経済活動を最優先せざるを得ず、また老々介護などで地域社会への参加が年々困難になっていく状況にある。現状を市は理解しているか。市の行政区、組の窮状の捉え方と対応について以下、伺う。</p> <p>(1) 市内には130程度の行政区が存在する。行政区によって世帯数、人口のアンバランスがある。これを市主導で改正する考えはあるか。</p>			

(2) 市は、行政区、組について、区長、組長、区役員を担う人が年々減少しているという認識があるか。

(3) 市の取組に、DX化が取り上げられているが、市役所の出先機関として、各地区公民館、集会所を、月に1度程度出張所として、市民相談の窓口にする考えはないか。

4 市内におけるこども食堂について

以下、伺う。

(1) 令和5、6、7年度に市内で開催されたこども食堂の実施数、参加人数、支給した市の補助金の状況について。

(2) 本年度をもって市からの補助金は打ち切られると聞くが、その理由は。

(3) こども食堂の存在が市民に与える影響について、市の考えは。

8(1/2)



発言通告書

令和 8年 2月25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 中西 宏 彰

下記のとおり発言したいから通告します

所要時間	60分	受付	2月25日 午前/午後 0時45分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
<p>1 スマートインターチェンジの供用に伴う振興策について</p> <p>東名高速道路への豊橋新城スマートインターチェンジ (仮称) については、早期供用開始を目指して工事が進み形状が見えてきたことで、より期待感が高まっている。スマートインターチェンジの実現は、インターチェンジ周辺に企業の誘致や雇用機会が期待でき、市の発展はもとより八名地域の発展や人口の流出を防ぐ一助にもなるものとして、地域の活性化に大いに期待している。そこで昨年9月定例会以降の進捗について伺う。</p> <p>(1) 今後の具体的スケジュールは。</p> <p>(2) 豊橋市と連携する地域振興策について、両市で連帯感をもって協議、検討を進めているとのことだが進捗状況は。</p> <p>(3) 供用開始に向けた道路政策推進室の今後の活動及び取組と進捗状況は。</p> <p>(4) スマートインターチェンジの供用は、地域振興、産業振興のための手段の一つである。この機会をどのように具体的に地域活性化につなげていく考えを持っているか進捗状況は。</p> <p>(5) 実現可能性の高い事業の絞り込みに関して、五葉の森整備、レジャー施設整備の検討状況は。</p> <p>(6) 開通後は交通量の増加が見込まれるが、出入口の安全性の確保及び地元からの安全対策の意見・要望等を踏まえた道路網整備の進捗は。</p> <p>(7) 供用開始に伴って観光振興にも繋がる開通セレモニーを行う計画は考えているのか。</p> <p>2 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の環境対策について</p> <p>施設の操業開始から10年が経過したが、地域住民から依然として臭気に対す</p>			

る不安の声が大きい中、昨年3月と11月にも臭気が基準値をオーバーするなど依然として大変憂慮される状況が続いている。今後の環境対策について、以下伺う。

- (1) 昨年12月以降、市に入った苦情等の状況は。
- (2) 更新申請に向けた修繕工事が行われ、昨年12月定例会で10月上旬に完了したと聞いているが、その後、苦情数が減ったなどの効果は見られるか。
- (3) 昨年11月の臭気測定では一次発酵槽用脱臭棟で基準値オーバーの結果が出ており、1月の測定では基準値内となっていた。その間どのような改善がはかれたのか。
- (4) 県において産業廃棄物処分業許可が審査中であるが、県と市において審査状況の情報共有はしているのか。
- (5) 当該企業から「地域からの要望があれば、地域へ出向き説明する意向がある」と言われたようだがその後の状況は。
- (6) 昨年7月に八名区長会として、県に「許可をしないように」要望を出しているが、審査が続いている現在、市としては何か県に働きかけているか。

9(1/1)



発言通告書

令和 8年 2月25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 白頭 聖志

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月25日	午前/午後	3時40分
発言の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般質問	本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)					
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)					
1 「こども誰でも通園制度」について 2026年度より始まるが本市の実施内容を以下伺う。 (1) 制度対象のこども園は。 (2) 制度対象の保護者への周知は。 (3) 保育士の業務内容の変化と負担は。 (4) 子どもの安全リスクは。 (5) 国からの補助金の見込みは。					
2 市道の整備状況について 各地区からの要望について以下伺う。 (1) 今年度の市道の整備、改修要望の件数は。 (2) これまでの要望に対し、整備、改修が完了した件数は。					
3 新城南部企業団地産業廃棄物中間処理施設の悪臭対策について 現状について以下伺う。 (1) 当該事業者に対する愛知県の「産業廃棄物処理業の許可更新」の審査状況と結果は。 (2) 当該事業者が行っている工場修繕や運用管理で悪臭発生は無くなると考えているのか。市の認識は。					

10(1/2)



発言通告書

令和 8年 2月25日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 花 島 志 保

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月25日	午前/午後 3時49分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 市内小中学校の給食について 子ども達が体も心も健康に育つには食がとても大切であるが、市ではより良い給食を提供するためにどのようなことを考えているか以下伺う。 (1) 現在の有機野菜使用の取組について 学校給食に有機野菜を使うことは、市長が所信表明演説で語った子どもの健康づくりの指標を改善することにつながると思うが、現在、学校給食に有機野菜はどれくらい使われているか。 (2) 今後の有機野菜使用の課題と取組について 地元で有機野菜を育てている農家の野菜を学校給食に使うことは、地産地消の観点からも、また地元農家を応援する意味でも、大きな意味があると思う。子ども達にとっても地元への愛郷心を育むとともに、安心安全で栄養豊富なものを食べることは体と心の健康につながると思うが、今後さらに有機野菜の使用を増やしていくことは考えているか。増やすのが難しい現実があるとしたらその原因は何か。				
2 女性議会について 今年度をもって女性議会は終了とされたが、女性議会の今後について以下伺う。 (1) 女性議会は女性の声を聞いてそれを市政に反映し、新城市がより多くの市民にとって暮らしやすいまちになるために重要な役割を果たしてきたと思うが、なぜ終了としたのか。 (2) 女性議会OGからは、終了を惜しむ声が多く上がっている。市長は所信表明演説で「女性に関する健康づくりの指標の改善をはかる」と言った。女性議会によって女性が活躍する場を設けたり、女性の声を活かしたまちづくりをしたりす				

ることは女性の健康にもつながっていたと思うが、女性議会をなくした今、具体的にどのようなことを考えているのか。

- (3) 若者議会には市からの予算が与えられたり、実現化率が高かったりするなど、女性議会に比べて優遇されていると感じる。確かに新城市の若者議会は全国に先駆けて始められ他の自治体からの視察も受けるなど高い評価を受けているのは認めており、若者が市政に携わるのも素晴らしいと思うが、女性の声を聴くことも大切だと思う。市では女性の声を聴くことについて、どのような認識か。



発言通告書

令和8年2月26日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 村田 康助

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	50分	受付	2月26日	<input checked="" type="radio"/> 午前 / 午後 8 時 37 分
発言の種類	<input checked="" type="radio"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 人口減少社会における地域課題について (1) 若年層の減少状況について伺う。 (2) 市内にとどまる人口の分析について伺う。 (3) 市内在住者の労働環境状況について伺う。 (4) 市将来人口ビジョンにおける将来人口動向について伺う。 (5) 蒲郡市のがまごおり未来創造塾・人材育成を参考に本市も行う考えはないか伺う。				
2 雁峰林道の復旧作業について (1) 林道の工事状況について伺う。 (2) 成果と問題点について伺う。 (3) 森林環境譲与税の活用について伺う。 (4) あいち森と緑づくり事業の活用について伺う。 (5) 治水事業の活用について伺う。				
3 太陽光発電について 市内各所で太陽光発電が設置されている状況を受けて以下伺う。 (1) 歴史的な土地と地域に及ぼす影響について。 (2) 農業用農地の意義と役割に及ぼす影響について。				

12(1/1)



発言通告書

令和 8年 2月26日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 丸山 隆弘

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月26日	午前/午後 8時5分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
1 国指定史跡長篠城跡整備と教育・観光振興について				
(1) 遺構の保存整備及び長篠城址史跡保存館、駐車場等の整備計画を伺う。				
(2) 現在行われている企画展の取組及び今後の取組を伺う。				
(3) 5月5日に開催される長篠合戦のぼりまつりの取組を伺う。				
2 水道事業について				
(1) ダム枯渇による本市への影響と対策について伺う。				
(2) 水道料金の今後の推移について伺う。				
(3) 愛知県及び東三河市町村等との広域連携について伺う。				
(4) 広域連携及び共同運営による水道事業の将来予測について伺う。				
3 新城市消防署の現状から見た課題について				
(1) 広大な管轄エリアをカバーしつつ、人口減少と高齢化に伴う「救命体制の維持」と「地域防災力の再編」の課題を伺う。				
(2) 消防職の採用推移を伺う。				
4 湯谷温泉源泉貯湯槽からのレジオネラ属菌検出について				
2月5日に湯谷温泉源泉貯湯槽から国の基準値を上回るレジオネラ属菌が検出された経緯及び今後の対策を伺う。				

13 (1/2)



発言通告書

令和8年2月26日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

滝川健司

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月26日	午前/午後8時55分
発言の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項(一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨(一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
<p>1 ふるさと住民登録制度について</p> <p>ふるさと住民登録制度は、居住地以外の地域に継続的に関わる方々を住民として登録できる制度で、新たな関係人口のあり方として地方創生の取組の一つである。登録者はボランティアや仕事を通じた地域の担い手としての貢献、地域の広報誌やイベント情報、各種行事への参加、公共施設の住民価格での利用といった地域への関与、消費活動等による地域経済への貢献、それぞれのスタイルに応じた様々な形がある。さらに政府は、住民税の一部を希望する自治体へ分割納税する仕組みや、地方交付税算定への反映、地域の意思決定への参加まで視野に入れているとのこと。</p> <p>ふるさと住民登録制度について、市の見解と課題、制度導入の可能性について伺う。</p> <p>2 愛知県消防広域化推進計画について</p> <p>2006年6月消防組織法の一部が改正され、自主的な市町村の消防の広域化の推進に関する規定が盛り込まれた。この改正を受けて同年7月に消防庁から「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が告示され、愛知県ではこの基本指針に基づき、消防体制の充実強化を目的として自主的な市町村消防の広域化を計画的かつ円滑に推進するために必要な事項を定めるため、2008年3月に愛知県消防広域化推進計画を策定した。2025年3月に広域化に向けた県内市町村の動向や基本指針の改正等を踏まえ計画を変更し、消防広域化推進期間を、2029年4月1日までを目途とした。</p> <p>これまでの関係市町村の動向と取組、基本方針の改正内容と経緯、本市の考え方及び推進期間における取組を伺う。</p>				

3 新城市中期財政計画について

令和5年度から令和8年度までの4年間における中期財政計画は、実効性を伴った具体的な財政運営の基準を示すとともに、この基準を確実に遵守し、将来にわたる財政運営の持続性を高めるための中期収支見込みにより、中期的な視点に立った財政運営を行っていくための指針とすることだが、現実の財政推移との乖離についてどのように見ているか。また、各年度の決算状況や社会情勢の変化など、将来の財政運営に影響を与える要素を予測できる範囲で勘案し、毎年度見直しをしてきたとのこと。中期計画による令和8年度推計では、歳入22,591百万円、歳出23,367百万円。今定例会における当初予算提案では歳入歳出とも、25,640百万円となり、歳入で約30億円、歳出で約20億円の乖離はどのような要素が影響を与えたのか伺う。

今後、少子高齢化や生産人口減、大型公共事業等を控え、後期財政計画に向けての展望を伺うとともに、自主財源確保に向けての取組、高市内閣の提唱する責任ある積極財政は地方自治体財政にどのような影響があるのか、ないのか伺う。

4 診療報酬改定及び医療法等の一部改正が市民病院経営に与える影響について

政府は診療報酬の本体部分を26年度に2.41%、27年度に3.77%それぞれ引き上げ、物価や賃金上昇等に対応する方針を示したが、厳しい経営状況の続く市民病院に与える影響について伺う。

また、高齢化に伴う医療ニーズの変化や人口減少を見据え、地域での良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を構築するため、医療法等の一部を改正する法律が成立した。改正の概要によると、地域医療構想の見直し、医師偏在是正に向けた総合的な対策、医療DXの推進等は、施行期日の関係もあるが市民病院経営及び新病院建設にどのような影響があるか伺う。



発 言 通 告 書

令和 8年 2月 26日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山田 辰也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	60分	受付	2月26日	午前/午後 9時00分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論			(該当に○印を記入)
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
<p>1 市民まちづくり集会の現状と今後の課題について</p> <p>新城市の自治基本条例におけるまちづくり集会は全国で同じように開催されているが、今回も意義を住民意識に植え付けることが出来たのか以下伺う。</p> <p>(1) 市民まちづくり集会を14回開催されてきたが、これまでの成果と検証は。</p> <p>(2) 今回のテーマであった公共施設についての成果は。</p> <p>(3) 本市では人口減少が続いているが市民の声を聞く必要は。</p> <p>(4) 参加者減少の原因は。</p> <p>2 2期目の市長報酬について</p> <p>市長の報酬について高額だと思うが以下伺う。</p> <p>(1) 1期目の選挙では報酬20%カットでスタートしたが今期は。</p> <p>(2) 合併時53千人の人口は今や42千人を切った中で、報酬について考慮しなかったのか。</p> <p>3 鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな施設管理の課題について</p> <p>(1) 2月5日に湯谷温泉源泉貯湯槽からレジオネラ属菌が検出されたとのことだが今後の対応は。</p> <p>(2) 老朽化等の問題が危惧されているが、日頃の点検方法は。</p> <p>(3) 源泉の枯渇や将来に向けて新たな供給について課題は。</p> <p>4 観光資源活用について</p> <p>新城市観光協会のホームページに宿泊のご案内が掲載されているが、湯谷温泉周辺の板敷川や国指定天然記念物の馬背岩などの宣伝努力が不足していないか。</p>				